

5月25日

テーマ：「主は心を見る」

聖書箇所：Iサムエル記16章1節～13節

◆今日のみことば

しかし主はサムエルに仰せられた。「彼の容貌や、背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」

Iサムエル記16章7節

◆メッセージ

我が家の二女は、二歳のとき、母親に「わたし、〇〇ちゃんのような、しわが二本の、ぱっちりおめめになりたいの」と言って困らせました。「あなたの目は一重まぶたで切れ長おめめで、とってもかわいいのよ」と説明しても納得しません。また、ある美人コンテストの優勝者が「私は背が高すぎ、鼻が高すぎるのが嫌いです」と自分のことを言っているのに驚いたことがあります。

私たちは、だれでも自分をより良く見せたい、自分が一番だと思いたいものです。でも本当は自信がなく、自分はダメだと思って、余計に強がって見せることがありますね。

実は、サウル王様もそうでした。彼は、自分が一番偉く、誰よりも強い王様だと、国中の人々に思わせるため立派なかんむりをかぶり、豪華なイスに座って命令しました。でも、その心は神さまから離れ、いつもイライラしていたのです。これでは神さまに仕える王様にはなれません。

そんな時、神さまは預言者サムエルに、サウル王様に代わって新しい王様を立てるようお命じになりました。その言葉が「彼の容貌や、背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」でした。

そして、少年ダビデが新しい王様として選ばれ、油注がれたのです。ダビデさんは敵と戦う武器を持っていたわけではありません。誰も見向きもしない、野原で羊の世話をする少年でした。でも、神さまを素直に信じ、神さまに信頼する心をしっかりと持っていたの

です。神さまは、そのダビデさんの心を見ていてくださいました。そして、神さまの御用のために用いてくださるのです。

神さまは、あなたと、あなたの心を見ていてくださいます。

◆お祈り

「神さま、あなたは私たちの心を見ておられます。私たちが人の目や、人の言葉を恐れなくて、いつも神さまに信頼することが出来ますようにお導きください。アーメン。」

(南柏聖書教会牧師 菊池良一)

